

令和3年度 墨田区立菊川幼稚園 経営報告書

令和4年3月2日

幼稚園目標	人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で豊かな心情をもち、主体的に生活する幼児の育成を目指し、小学校就学前に必要なたくましく生きていく力の基礎を培う幼稚園づくりを進めます。 ○元気な子 ○自分で考える子 ○仲良く遊べる子
目指す幼稚園像	幼児にとって ○明日が楽しみになる幼稚園 ○一人一人が力を発揮できる幼稚園 ○心と心がつながる幼稚園 保護者にとって ○通わせてよかったと思える幼稚園 ○幼児を中心に保護者同士が学び合える幼稚園 ○安全で安心できる幼稚園 地域の方にとって ○あってよかったと思える幼稚園 ○幼児が素直で明るい幼稚園 ○地域の教育力が生かされる幼稚園 教職員にとって ○使命感とやりがいがある幼稚園 ○創意・工夫を生かせる幼稚園 ○自ら学び、互いに高め合い、協働する楽しさを感じられる幼稚園
目指す園児像	○元気な子 基本的な生活習慣や態度を身に付け、自立をめざして生活が送れる子 個や集団での運動遊びを行い、積極的に体を動かせる子 ○自分で考える子 善悪の判断や自己抑制を身に付け、自分で考えて行動できる子 ○仲良く遊べる子 相手に対しての思いやりの心を持ち、一人一人の違いを認め合える子
目指す教師像	○専門職としての自覚をもち、謙虚に学び続ける教師 ○幼児・保護者とよい関係を築き、教師仲間と助け合う教師 ○メリハリある教育を同一歩調とする教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
保育活動等	園は、子供の主体的な活動を促す教育の実施に努めているか。	A	今年度の研究テーマ「自信をもって行動する幼児の育成」をさらに追究し、主体的に遊びや生活に関われるたくましい幼児を育成していく。	A	A
	園は、特別な支援を必要とする幼児に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	B	保護者の願いを基に、巡回心理士や外部機関の助言を受けて、管理職、担任、支援員、介助員等全職員が情報や支援の方針・方法を共有して、適切な支援をしていく。	B	A
	園は、幼児の将来の自立に向けた保育活動・相談活動に取り組んでいるか。	A	就学までに育てたい10の姿を指標に、個別の実態に合わせた援助や段階的な保育をする。幼児、保護者の思いに寄り添ったよりよい手だてを考えながら緊密に連携して進める。	A	A
	園は、教員の指導力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	次年度は区の特色ある学校づくり推進園として今年度の園内研究実践を継続すると共に、日々の週案会議、園内研、区幼研（公開保育を通して、指導力を向上していく。	B	B
	園は、幼保小中一貫教育の推進に取り組んでいるか。	B	スタートカリキュラムの助言、小学校の公開動画の視聴や出前授業を行って相互理解を促進する。	B	A
	学校関係者評価委員会の意見等		研究発表や学校運営連絡協議会で写真や動画によって子どもたちの様子がよくわかった。保護者アンケートの提出率(100%)や肯定率の高さに園との良好な関係が伺われる。本園のよさについて掲示物やHPを通じて未就園児保護者に積極的に発信していけるとよい。		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	園は、幼児の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	職員会議、週案会議、保育の振り返りで定期的に情報を共有し保育の方向性を確認する。児童間トラブルなど問題行動やけがの未然防止と迅速な初期対応による解決に努める。	B	B
	園は、幼児が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	引き続き感染予防対策を徹底する。自立に向けて生活習慣の確立と生活技術の習得、周囲の人とのコミュニケーションの仕方を身に付けさせていく。全ての幼児が成長を実感し、自信をもって行動するように援助していく。	A	A
	園は、幼児の安全を確保するための取組を行っているか。	B	安全指導、安全点検、避難訓練を通して、教職員の危機管理意識と対応力を高めると共に安全管理を徹底していく。	B	A
	園は、幼児や保護者からの意見や要望を把握し、保育活動の点検や改善に役立っているか。	A	アンケートや行事の感想、日頃の対話により保護者の願いを受け止め、できる限り要望や提案に応えられるようにする。また行事の工夫・改善や施設の改善に生かしていく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	子どもたちが生活習慣や集団のルールやマナーを身に付けることは大切である。「自分でできることは自分でする」ように「やって見せ言って聞かせてさせてみてほめてやらねば・・・」の精神で今後も幼稚園だけでなく家庭と連携・協力して見守ってほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
園の管理運営	園は、管理職の経営方針に基づいた、組織的な教育活動・園運営を行っているか。	A	園長の経営方針を、園全体で理解し、教育活動を進めていく。次年度も中間評価により柔軟に教育課程を見直ししながら、活動のねらいや実施方法を検討して適時適切に判断していく。	A	A
	園は、幼児の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	行事の後や長期休業の前等にチャートを用いて10の姿の観点で幼児の変容を数値化して個人内評価する。指導計画や教育計画は期毎に見直し、個と集団の目標を修正し指導していく。	B	A
	園には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	毎月の安全点検、年1回の園施設点検、衛生点検を活用して必要な環境・設備を整える。効率的な予算執行やICT活用を進める。年3回環境整理日に計画的に廃棄や移動をする。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	いつも教職員のみなさんがチームワークよく園児のために力を尽くしていることがわかる。小学校併設の利点を生かし、学校施設の活用や連携を一層進めてほしい。園児のために園設備の有効利用や老朽化した施設や備品の早急な修繕や更新を進めてほしい。			

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	園は、教育方針や日常の保育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	C	写真や動画の掲示やホームページの充実、情報配信メールの活用、園案内、保護者の会が作成してくれたチラシなどにより未就園児保護者に向けて積極的にPRしていく。	B	B
	園は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	保護者会、学校運営連絡協議会で、教育活動や園行事について理解と協力を得るよう一層努めていく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等	園が創意工夫しながら子どもたちの様子を家庭や地域に伝えようとしてくれていることがよくわかる。スライドや動画を見ると子どもたちが明るく健やかに成長しているので安心していい。次年度は例年のように園児に直接会えることを楽しみにしている。			

2 令和3年度学校評価のまとめ

地域、園関係者、保護者の皆様にはいつも園の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。子どもたちは今年度も元気に過ごすことができました。本園のよさを広く情報発信して園児数減少に歯止めがかかるように努力していきます。これからも教職員個々の主体性を尊重し合い、園長を中心に皆で力を合わせて取り組んでまいります。

以上の通り報告いたします。

墨田区立菊川幼稚園

園長

柿沼 広美

公印